

実施課題名 課題A:各種観測データの一元化

課題責任機関: 国立研究開発法人 防災科学技術研究所

事業責任者(説明者): 上田 英樹

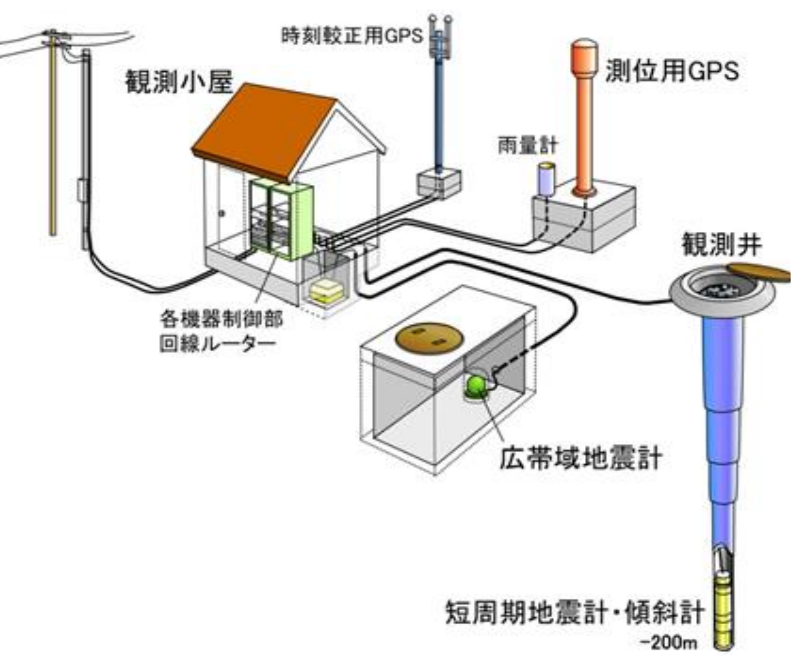
火山研究推進センター 主任研究員

地震津波火山ネットワークセンター 火山観測管理室長

防災科学技術研究所の火山観測施設（全国の16火山に55カ所）



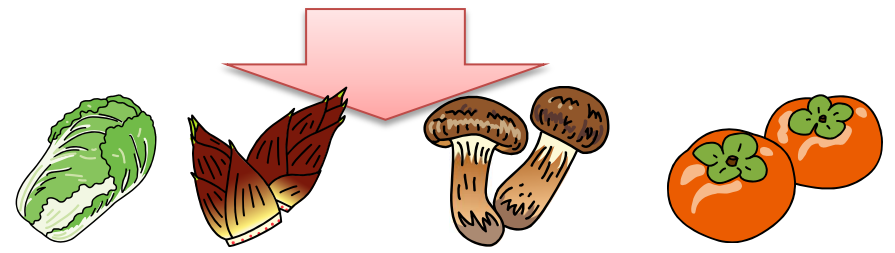
火山観測施設に設置された観測機器



短周期地震計	マグマが移動時に周辺岩盤を破壊することにより発生する微小地震を検知する装置。検知した微小地震は、マグマの移動場所の推定に活用。
傾斜計	マグマの上昇量の推定するため、マグマの上昇による火山本体の傾きを測定する装置。
GNSS (GPS)	火山内部のマグマがどのくらい膨張しているかを推定するため、火山の地表の動き(地殻変動)を測定する装置。
広帯域地震計	噴火活動の推移や噴火の規模を推定するため、噴火による長周期の振動を検出するための装置。



各種観測データ

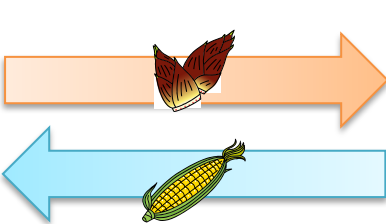


各種観測データの一元化

海外の研究機関



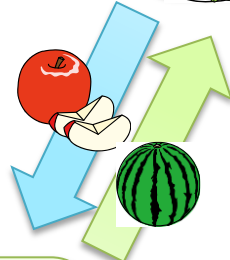
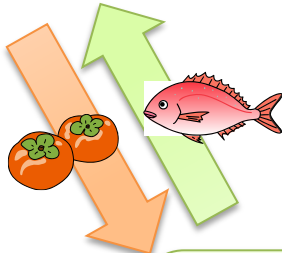
防災科学技術
研究所

A box representing disaster science and technology research, featuring an illustration of various vegetables.

気象庁
Japan Meteorological Agency

The Japan Meteorological Agency logo and name, accompanied by an illustration of various fruits and vegetables.

防災の研究

A box for disaster research, featuring an illustration of a plate of food.

火山監視

噴火警報などの
防災情報



データ公開



大学、他の
研究機関

火山の研究

A box for university and other research institutions, featuring an illustration of a fish, watermelon, and sweet potatoes.

大学、他の
研究機関

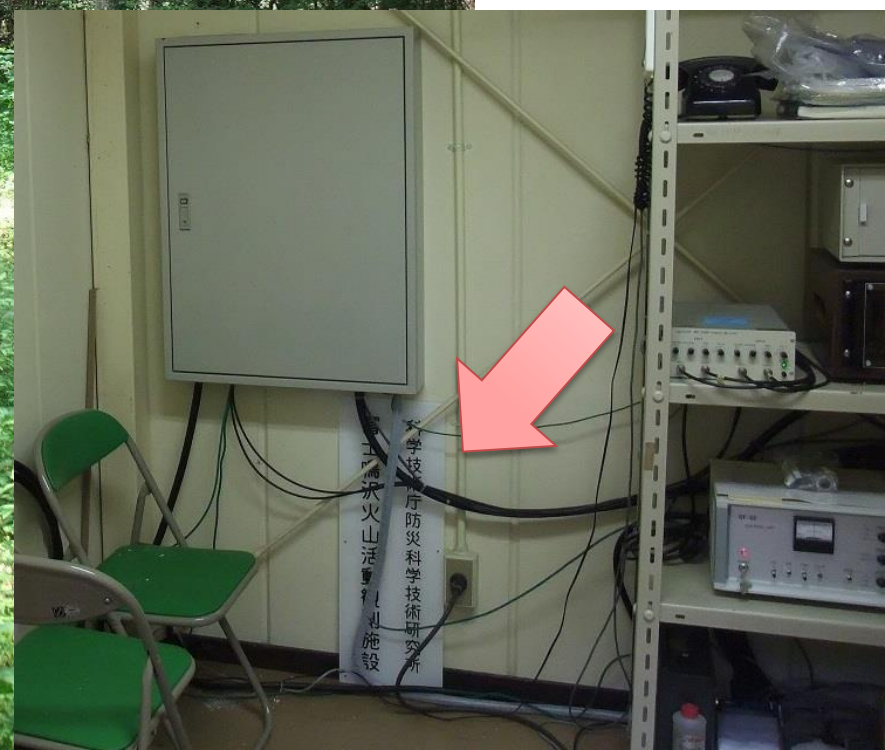
A box for university and other research institutions, featuring an illustration of a cow, eggplant, and pumpkin.

学生、研究者など

各種観測データを活用した研究開発



富士鳴沢火山観測施設（1990年度設置 山梨県鳴沢村）



1990年以降の変化

富士鳴沢火山観測施設
(1990年度設置)

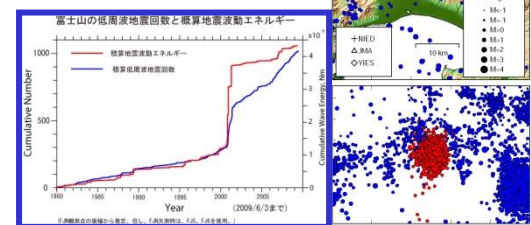


雲仙普賢岳噴火
1990～95年

有珠山噴火
2000年

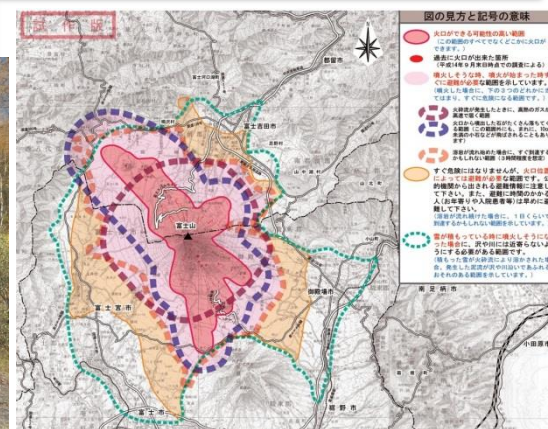
三宅島噴火
2000年

富士山の深部低周波地震の活発化(2000年)



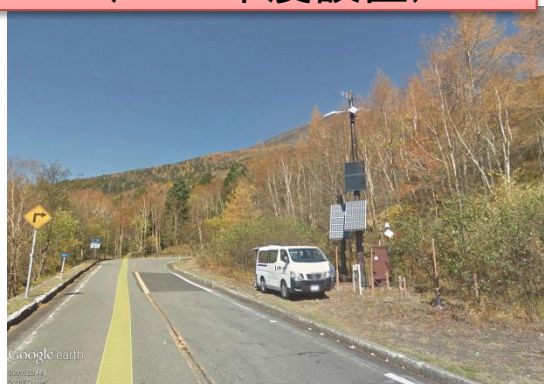
約10年で
大きな変化

富士山のハザードマップ
整備(2001-04年)



富士山観測体制強化

富士第6火山観測施設
(2003年度設置)



霧島山新燃岳噴火
2011年

御嶽山噴火
2014年

口永良部島噴火
2015年

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト

次の10年